

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年1月13日

施設名	高知県立県民文化ホール	所管課	文化・国際課
-----	-------------	-----	--------

## 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成21年 4月 1日 ~ 平成26年 3月31日
施設所在地	高知市本町4-3-30		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>&lt;建物&gt;延べ床面積:11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階          &lt;土地&gt; 5,288.15㎡          &lt;主要施設&gt; 大ホール(1504席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など          &lt;開館時間&gt;午前9時~午後10時          &lt;休館日&gt; 12月27日~1月1日          &lt;主な料金&gt; ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定</p>		
職員体制	常勤職員: 5人 契約職員: 4人 合計: 9人		

※職員数は平成22年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位:千円

		平成20年度(決算)	平成21年度(決算)	平成22年度(予算)
収入	県支出金	101,801	106,367	83,397
	事業収入	98,699	80,804	9,321
	その他	1,611	1,661	48
	収入計	202,111	188,832	92,766
支出	事業費	6,992	8,305	777
	管理運営費	192,153	179,112	91,989
	(うち人件費)	(54,272)	(43,853)	(63,442)
	その他	2,966	1,415	0
	支出計	202,111	188,832	92,766

### 3 利用状況

	平成20年度(実績)	平成21年度(実績)	前年度比(人)
①年間利用者数(単位:人)	大ホール入場者数 199,200人	190,182人	-9,018人
	小ホール入場者数 56,305人	51,419人	-4,886人
	合計 255,505人	241,601人	-13,904人
	<利用実績>入場者数については、景気の悪化など非常に厳しい経済状況もあり対前年度比5.4%減となった。 なお、多目的室の利用件数、日数は103日増の延べ973日(前年度870日)と伸びている。		

#### 4-1 平成21年度業務評価(指定時の県の要求水準に対する項目による)

項 目	評価	事業評価委員会意見
①指定管理期間における要求水準1 「優れた芸術文化に触れる場としての機能を充実する」	B	・無難な貸し館運営という印象がある。
県内最大の座席数の大ホールを有する施設として、また、県民にとって芸術鑑賞という特別な場であるとの視点に立ち、他ホールでは開催できない規模の優れた舞台芸術、音楽等の催事が安定的に行えるよう環境を維持する 利用者の視点での運営に心がけるとともに、施設設備を常に良好な状態に保ち故障や事故のない運営を行う	B	
貸し館以外の催事として、県民の鑑賞に相応しい自主事業を企画し、県民が質の高い芸術文化に触れる機会を確保する 自主企画事業を実施する場合には、子どもたちが芸術に触れる視点を重視し、アウトリーチ活動などの機会を積極的に設ける	C	・自主事業をもっと多く実施することを望む。
上記の要求水準以外の取組	B	
②指定管理期間における要求水準2 「芸術文化の創造の場としての機能を充実する」	B	・創造や育成をしているイメージは弱い。
ホール、多目的室ともに利用の促進を図るとともに、利用や舞台設備操作に関する主催者への適切なレファレンスや、文化団体が練習や発表等のために利用しやすい環境を整えることなど、利用者が利用して良かったと思っただけのサービスを提供する	B	
文化団体が練習などの日常の活動拠点として文化ホールを利用してもらうための取組を進める	B	
文化団体が利用しやすい小ホールと多目的室の利用ニーズを把握し、利用を促進することで文化活動の場を提供する	B	・利用し易いかと言えば疑問が残る。
上記の要求水準以外の取組	B	

③指定管理期間における要求水準3「県内各地域の芸術文化の振興に寄与する」	B	・県内の他のホールへの指導はできている。
県内最大のホールとしてのノウハウをもとに、他の県内ホールがそれぞれの地域で芸術文化振興の拠点となるよう舞台技術や企画運営の指導に努める	B	・県内の他のホールへの指導はできている。
施設改修工事に伴い、利用者ができるだけ不便を感じないよう事前の広報や催事の受け皿となる他ホールとの連絡調整などを適切に行う	B	
上記の要求水準以外の取組	B	

4-2 平成21年度業務評価(効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理に関する評価)

経営努力 収入増加の取組 経費削減の取組	B	・幅広い事業展開を期待する。
サービス向上への取組 自己点検・評価の状況 事故、クレームへの対応 職員の専門性の向上 研修の実施状況 その他サービス向上の取組	B	・委託が主流になっており、専門性については、将来不安が残る。
社会的責任 法令等の遵守 個人情報、情報公開の状況	B	
建物や設備の管理 点検・修繕の実績 業務委託の状況	B	
危機管理 風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 マニュアルの作成 職員研修	B	

総合評価	B	・リニューアルを控え、自主企画事業の企画が立てにくかったと思われるが、より積極的な展開を期待する。 ・県民が大いに活用できるよう、一層のアピールや企画を望む。 ・貸し館としては、評価できる。
------	---	---

【評価の目安】

- A: 仕様書(要求水準)の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書(要求水準)の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書(要求水準)の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの